第 72 回　品質保証分科会　議事録（案）

1. **日　時**　2026 年 9 月 29 日（火）10 時 00 分～11 時 30 分

2. **場　所**　日本電気協会 4Ｆ　A 会議室　（Web 併用会議）

3. **出席者**　（順不同，敬称略）

出 席 委 員：山田分科会長(慶応義塾大学)，須田副分科会長(ﾃｸﾉﾌｧ)，河本幹事(北海道電力)，
徳久(三菱重工業)，佐藤智(日立 GE ﾍﾞﾙﾉﾊﾞ)，工藤(東芝)，杉谷(三菱電機)，
鈴木(富士電機)，羽田(日本原子力発電)，鈴木(中部電力)，中川(東京電力 HD)，
近田(関西電力)，小畑(東北電力)，西野(北陸電力)，山崎(電源開発)，
井門(四国電力)，佐藤修(鹿島建設)，本島(大成建設)，森(清水建設)，齋藤(三菱原燃)，
蓮池(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ﾆｭｰｸﾘｱ・ﾌｭｴﾙ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ)，藤谷(日本原燃)，中江(原子燃料工業)，
佐藤吉(元東京海洋大学)，中西(慶応義塾大学)，景井(ﾋﾞｭｰﾛﾍﾞﾘﾀｽｼﾞｬﾊﾟﾝ)，
橋本(発電設備技術検査協会)，鳥海(日本ｴﾇ・ｭｰ・ｴｽ)
(計 28 名)

代 理 委 員：砂田（IHI 友田委員代理)，扇元(中国電力平田委員代理)，
宗野(九州電力　岡本委員代理)，
(計　3名)

欠 席 委 員：友田(IHI)，平田(中国電力)，岡本(九州電力)，川上(日本製鋼所)，
髙橋(日本原子力研究開発機構)，中條(中央大学)，吉田(熊本大学名誉教授)
(計　7名)
(委員　計 31 名)

常時参加者：佐々木(原子力規制庁)，　髙田(原子力規制庁)，瀧田(原子力規制庁)　(計　3名)

説　明　者：品質保証検討会　小園主査(関西電力)，小林 普及促進チームリーダー(電源開発)，
鈴木(元中部電力)　(計3名)

オブザーバ：なし　(計　0名)

事　務　局：浅見，上野(日本電気協会)　(計　2名)

(合計 39 名)

4. **配付資料**：別紙参照。

5. **議　事**

事務局より，本分科会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないこと及び Web 会議での注意事項を確認の後，山田分科会長の開催挨拶があり，その後議事が進められた。

(1) 代理出席者，常時参加者，説明者，オブザーバの承認，定足数確認，配付資料の確認，分科会委員の再任等　他

事務局より，資料 No.72(1)1 に基づき，新委員 7 名の紹介があった。

第 99 回原子力規格委員会（2026.9.16）承認委員　7 名

羽田(日本原子力発電)，中川(東京電力 HD)，近田(関西電力)，小畑(東北電力)，西野(北陸電力)，井門(四国電力)，鳥海(日本ｴﾇ･ｭｰ･ｴｽ)

本日の代理出席者 3 名の紹介があり，分科会規約第 7 条（委員の代理者）に基づき，分科会長の承認を得た。確認時点の出席者は代理出席者も含めて 31 名であり，分科会規約第 10 条（会議）第 1 項に基づき，委員総数の 3 分の 2 以上の定足数（24 名以上）を満たしていることが事務局より報告され確認された。

常時参加者の異動は無いことが報告された。

次に，事務局より，説明者 3 名の紹介の後，配付資料については，事前送付されているので問題ないことを確認した。その後新委員による挨拶があった。

(2) 分科会タスク・検討会委員の変更（審議）

事務局より，資料 No.72(2)シリーズに基づき，分科会タスク・検討会委員の変更について紹介があった。下記に示す品質保証検討会新委員候補については，分科会規約第 13 条(検討会)第 4 項に基づき，品質保証検討会委員として承認するかについて，分科会規約第 13 条(検討会)第 15 項に基づき，Web の挙手機能により決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

【品質保証検討会】

・ 退任予定　竹田　委員（関西電力）　　・新委員候補　松田　基清氏（同左）

・ 退任予定　亀岡　委員（日本原燃）　　・新委員候補　佐藤　直子氏（同左）

【ワークショップ検討タスク】

・ 東京電力 HD　中川委員（仲村委員退任）

・ 委員の品質検討会主査　小園主査に交代（竹田主査交代のため）

【JEAC4111 改定基本方針検討タスク】

・ 東京電力 HD　　中川委員（仲村委員退任）新留様が委員に加入

・ 関西電力　　近田委員（田中委員退任）

(3) 前回分科会議事録の承認（審議）

事務局より，事前に確認を受けた資料 No.72(3)1 の前回議事録（案）の紹介があり，正式議事録とすることについて，分科会規約規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき，Web の挙手機能により決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(4) 前回分科会以降の状況報告（報告）

事務局より，資料 No.72(4)シリーズに基づき，前回分科会以降の状況について報告があった。

- 7 月 1 日：技術資料 No.005「品管規則及び解釈と JEAC 4111-2021 の対応関係」を NUSC HP へ掲載
- 8 月 20 日：第 77 回品質保証検討会開催　主査交代により，主査選任及び副主査の指名を実施
- 9 月 1 日：2026 年度 JEAC4111 実務コース講習会　オンデマンド開催
- 9 月 7 日：第 84 回原子力関連学協会規格類協議会にて前回（83 回）で改定されたステートメントに対し現状の確認と自己評価及び今後の計画を収集することになったこと，期限は 2 月の協議会幹事会までであることを報告
- 品質保証分科会に関係するところは，第 3 章 「学協会規格策定活動の課題および対応」の(4)人材確保に品質マネジメントの記述があることを紹介

主なご意見・コメント

- 特になし

(5) 2026 年度 JEAC4111 専門コース講習会の実施について（審議）

品質保証検討会　普及促進チーム　小林リーダから資料 No.72(5)シリーズに基づき 2026 年度 JEAC4111 専門コース講習会の実施について説明があった。

- 12 月 7～8 日（集合研修形式）
- 定員 30 名，最大 5 テーブル・各テーブルにインストラクター2 名を配置
- 講義・グループワーク・グループディスカッションの手法を用い，参加者は事前学習が必須とされている。
- 昨年度と同じ事象を題材とするが，演習の狙い・提供情報・インストラクターの支援方法を改善して実施する。

2026 年度 JEAC4111 実務コース講習会の実施について分科会規約第 12 条(決議)第 4 項に基づき，Web の挙手機能にて決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

主なご意見・コメント

- 表書きの対象者の記載と後半ページの対象者の記載内容に不整合がある。どちらが正しか

→ 後半の記載を正として表書きを修正する。

(6) JEAC4111 改定基本方針検討タスクの状況について（報告）

河本幹事より，資料 No.72 (6)1 に基づき説明され，

具体的な課題と検討の進め方について資料 No. 72 (6)2 により，事務局から説明を行った。

- タスク幹事会を中心に置き，作業会と連携しながら改定仕様書の作成を目指す体制に変更
- 改定に向けた主な課題は以下の通り
  - ① 規格の枠組み・構成の設定（品管規則との整合が前提）
  - ② 原子力規制庁から提示された課題報告書への対応
  - ③ ISO9001 改定への対応
  - ④ GSG-20 への対応
  - ⑤ 利害関係者の要望事項の反映
  - ⑥ その他誤記等の修正
- 課題①②は手戻りを防ぐため先行して方向性を決定する必要があることを共有

- 原子力規制庁より，IAEA の状況について情報提供
  - ① GSR パート 2（品管規則のベース）の改定作業が今年から正式開始
  - ② 11 月から専門家会議（タスク会議）開始予定
  - ③ リーダーシップ・マネジメント・文化の三要素のバランスを重視した大きな改定が見込まれる
  - ④ 発行予定は 5 年後（2031 年頃）
  - ⑤ 規制庁もこの改定作業に参加予定

主なご意見・コメント

- 原子力規制庁だが，JEAC4111 の規格としての立ち位置（性能規定レベルか，具体的手法を示すものか）を先に明確にすることが重要である。それから，民間規格の方針は学協会が決めるものであり，規制庁はその方針に対してどう受け止めるかを伝える立場である。又，GSG-20 の翻訳は規制庁からの提供を待つことなく，自動翻訳ソフトで翻訳して対応して良いと考える。タスクメンバーも更新されたので，タスクを早期に開催して今回いただいた意見も踏まえて議論を進めるべきと考える。

(7) 品質保証検討会からの報告（報告）

第 77 回品質保証検討会（8 月 20 日）で主査に選任された小園主査から就任の挨拶と副主査に九州電力　加茂委員を指名し，受諾されたことの報告があった。

主なご意見・コメント
特になし

(8) その他

1) NUSC　阿部委員長からの依頼事項

事務局より資料 No.72(8)1 について説明があった。
事務局の説明

- 中部電力の基準地震動不正に関する第三者委員会報告書を踏まえ，耐震規格 JARC4601 と品質保証規格 JAC411 の関係整理を依頼するメールが届いた。
- NUSC からオピニオンペーパーを発行する予定である。
- 依頼事項は地震動の作成（JEAG4601）において品質保証（JEAC4111）はどう位置付けられるかと耐震設計（JEAC4601）における品質保証（JEAC4111）の位置付けについての整理で，10 月半ばまでの回答が求められている。
- 本件，山田分科会長から河本幹事へ対応依頼済みで，現在検討中である。

主な意見・コメント

- 元中部電力に在籍していたものとして周辺状況の情報共有なしに有効なレビューは困難であり，キーとなる文献の共有が必要との意見が出された。
-

2) 原子力規制庁からの情報提供

- 先の議題で共有したので，話すことはないとの回答

3) 次回開催について

年度末に向かって，次年度計画の策定，講習会の実施結果，改定基本方針タスクの状況報告，ステートメントの自己評価対応，阿部先生からの依頼事項が予定されており，河本幹事と相談調整することが確認された。

以　上

別　紙

第 72 回品質保証分科会配布資料

72 (0)	第 72 回品質保証分科会　議事次第 r0
72 (1)1	品質保証分科会名簿（2026 年度 9 月 29 日現在/ 第 99 回 NUSC　承認版）
72 (2)1	品質保証検討会名簿
72 (2)2	ワークショップ検討タスク名簿
72 (2)3	JEAC4111 改定基本方針検討タスク名簿
72 (2)参考 1	品質保証検討会体制表(業種別)
72 (3)1	第 71 回品質保証分科会議事録（案）
72 (4)1	第 71 回品質保証分科会以降の状況（各会議体の議事録等）
72 (4)参考 1	第 98 回 NUSC 議事録（案）
72 (4)参考 2	原子力安全の向上とイノベーション促進に向けた学協会活動の取り組み
72 (4)参考 3	ステートメントに対する活動及び自己評価と今後の計画 R0
72 (4)参考 4	原子力関連学協会と原子力規格委員会　組織図
72 (5)1	2026 年度_専門コース講習会の開催案内(案)_
72 (5)2	JEAC4111 普及・促進チーム_2026 年度講習会作業スケジュール(案)
72 (6)1	JEAC4111-2021 の改定に向けて（改 1)
72 (6)2	JEAC4111 改定基本方針タスクの課題について
72 (8)1	NUSC 委員長より依頼事項